

評論家の石さん 中台情勢を語る

東信経済倶楽部

東濃信用金庫(多治見市)

の取引先でつくる東信経済
倶楽部は26日、同市虎溪



中国の経済情勢の悪化を語る
石平さん＝多治見市虎溪山
町、とっしん学びの丘エール

山町のとっしん学びの丘エールで講演会を開いた。評論家の石平さんが「中国の政治経済情勢と台湾有事の行方」をテーマに語った。

石さんは中国経済について、「今年を境に高度成長は完全に終わった」と指摘。短期的には若者の失業率の悪化、経済成長をけん引してきた輸出や「支柱産業」とみる不動産投資の落ち込みを課題に挙げた。

さらに出生数が10年前の半数余に減ったことを深刻に捉え、中長期的にも若者の減少で住宅は売れず、労働力不足で輸出も落ちると見通した。「経済規模が縮まることはあっても大きくなることはない。世界の工場の役割はインド、ベトナムに奪われる」と述べた。

講演会は446回目。会員の経営者ら約120人が耳を傾けた。(小森直人)